

(別紙様式例3)

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年2月1日

事業所名: あけぼの園

回収数54(回収率79% 配布数68)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		・年度途中の入園があるため、特に母子集団療育では、日によっては人数が多く狭く感じるがありますが、利用日の変更を保護者に協力してもらいながら、部屋のスペースを確保しています。 ・トランポリンに関しては、昨年度進入禁止のロープを巻き、効果が見られました。	63%	33%	4%	0%	・親子同室で遊ぶ時は少しせまかったです。・現施設では少し狭いが、新施設が完成すれば問題なく利用できそう。・もう少し各部屋が広ければ良いと思う。・プレイルームにある階段やサーキットの道具、椅子、机がむき出しで置いているのが若干、気になります。	・現施設では十分なスペースの確保が難しいが、令和6年度に新施設ができれば解決すると思われる。それまでは、上手く調整しながら使っていきます。 ・むき出し家具については、保護テープの使用や、整理整頓に努めます。
	2 職員の適切な配置		○			92%	8%	0%	0%		・規定上は適切ですが、利用児によって1対1で見守る必要があるため、その際は足りないと思うこともあります。・クラスの枠を超えて、職員同志がフォローし合っています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備		○		・段差があつたり、療育中の部屋を通り抜けなければならない部屋の配置だったりもするが、職員で協力しながら対応しています。	78%	16%	2%	4%	・トイレが1箇所しかないため不便。	・トイレに関してはご不便をおかけしています。トイレは職員室横1箇所に2つありますので、気兼ねなく使用してください。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		○		・建物自体が古く、補修の跡もあるが、毎日できる限りの範囲で環境を整えています。 ・心地よく過ごせるように、毎日の清掃を行っています。	80%	18%	2%	0%	・本人の特性にはなってしまうが、プレイルームでの療育の方が、広い事もあって走り回って落ち着かない時がある。・老朽化の点で。・コンセントの垂れが気になる。	・今後も、特性と療育の内容によって、使用する部屋を変更していき、必要に応じて、保護者に説明していきます。・コンセントの垂れについては、家具の配置を工夫し、改善できました。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)への職員の積極的 な参画	○				/	/	/	/		
	2 保護者向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向 等を把握し、業務改善につなげているか	○				/	/	/	/		
	3 この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	○				/	/	/	/		
	4 第三者による外部評価を活用した業務改 善の実施			○		/	/	/	/		・外部評価は行っていませんが、宇 和島市の指定管理事業であり、市と 連携しながら業務を行っています。 保護者からのご意見を頂き、改善を 図っています。
	5 職員の資質の向上を行うための研修機会 の確保	○			・外部研修を受けた職員が、そ の内容を報告しています。 ・月1回の内部研修を行い、職員 が内部講師となり、自分のテー マを研究したり、発表したりする 場を設けています。	/	/	/	/		
適切な支 援の提 供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 での児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画の作成	○				96%	2%	0%	2%		・個別支援計画作成の際には子ど もの様子、保護者の願い、支援者の 願い、発達検査の結果などを元にし て関係職員が話し合っています。定 期的に個別のケース会議を開催し ています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画における子どもの支援に必 要な項目の設定及び具体的な支援内容 の記載	○				100%	0%	0%	0%	・子どものことをよく理解してくれ ているのが分かる	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせた児童発達支援 又は放課後等デイサービス計画の作成	○				/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				92%	2%	0%	6%		・目標に応じた、療育内容を実践していますが、疑問があれば、ご質問ください。丁寧に説明いたします。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○			・行事においてチームで話し合う時間を設けています。 ・クラスごとに、関係する職員で月案や日々の活動の内容を考えています。						
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			・同じような内容が続くこともありますが、同じ遊びでも少し内容を変えたり、時々新しい遊びを取り入れたりしています。	86%	14%	0%	0%		・日課を繰り返すことで、見通しを持ち、望ましい行動を取れる利用児が多いのですが、初めての活動の方が、集中できる利用児もいます。それぞれの特性に合わせた療育を行っていきます。また、同じ日課であっても、内容を少し変え、変化に対する対応力を身につけられるように努めます。
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			・長期休暇時には時間がたくさんあるので、平日の療育プログラムには入れられない内容も取り入れて実施しています。						・放課後等デイサービスでは、感染拡大状況をみながら、ドライブや買い物学習、クッキング等を再開しました。長期休暇での利用時間が長くなる時には、設定療育を増やし、療育内容の充実を図っています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			・毎回、支援内容や送迎時間の確認、担当の割り振り等を行ってから療育を行っている。						
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			療育後にミーティングを行い、気になった子どもや気づいた点など等を振り返って翌日につなげている。合わせて、週1回のミーティングを行い、情報の共有化を図っています。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○									
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○									
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			・モニタリングには協力していません。 ・相談支援事業所からサービス担当者会議に招かれることはありませんが、新規事例においては、利用日数や、希望の曜日、子どもの状態など電話で伝えてもらっています。						
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○			・必要に応じて、訪問看護や、他事業所等と連携を取り合い、情報を共有し、安全な療育が提供できるようにしています。相談員を交えた、連絡会を開催しました。						
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○			嘱託医である市立宇和島病院の小児科医師に、ケアが必要なお子さんについて相談ができる機会を設けています。						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	○			・就園・就学に関して園訪問や、学校訪問に同行したり、教育相談に同席しています。専門家の先生の個別相談の際には、在籍園の先生方にも来園してもらい、支援内容の情報の共有化を図っています。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○									・直接他の障害福祉サービスに情報提供をすることはありませんが、仲介役である相談支援事業のモニタリングを通して、他の事業所の活動の様子を知ることができています。あけぼの園での活動については、相談支援専門員が他事業所に伝えてもらっています。必要に応じて、他事業所に個別に連携をとれる状況にあります。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		○		・愛媛県子ども療育センターの巡回相談を利用し、助言を受けています。市立宇和島病院や、伊予病院、愛媛大学の先生から研修の機会を設けています。						・コロナ禍であり、外部研修が受けにくい状況が続いており、来園して頂いた専門機関の先生からの研修の機会を積極的に設けます。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○			49%	20%	8%	24%	・コロナが収まったら機会が増えると思います。・コロナの関係で仕方がないが交流ができるようになるのが良い。・コロナ渦でなかなか行事ができていない。	・コロナ禍により外部交流を控えている。コロナの感染拡大の状況を見ながら交流の機会をとらえていきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			○	・コロナの関係で難しいことが多いですが、徐々に増やせるように努めます。							・コロナ禍でもあり、夕涼み会や、運動会等で外部の方の招待は控えました。しかし外部からの招待はお受けしたものもあり、年齢に応じた案内をお知らせしました。みかん狩りには、職員とともに、大勢の親子が参加することができました。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				98%	0%	2%	0%		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				98%	2%	0%	0%	・時間を設けて話をしてくれた。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○				82%	6%	0%	12%	・療育中でも色々アドバイスしてくれた。	・療育中における職員の子どもへの関り、声かけの仕方を見て頂いたり、お知らせしたりしています。また、いくじ学級・個別療育相談では、専門の先生の話を書くことのできる良い機会ですので、ご活用ください。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○				100%	0%	0%	0%	・子供の事や生活の事等気軽に話すことができています。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○				92%	8%	0%	0%	・いつもお忙しそうで、お話をするきっかけがつかみにくい。	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	○				82%	8%	0%	10%	・会やイベントに参加できていないので分かりません。	・保護者会(たけのこ会)の方には、行事の協力をお願いし、話し合いの機会を設けました。行事の内容を縮小しているため、保護者や兄弟が参加できる運動会の種目をなくし、また、謝恩会の開催等ができませんでした。しかし、3年ぶりの家族参観日では、父親参加を呼びかけ、多くの方に参加して頂き、その後懇談の場を設けました。保護者通しのつながりを深めてもらうため、クラス懇談を再開しました。参加者が限定されており、開催方法を保護者の意見を聞きながら検討していく予定です。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○				80%	6%	0%	14%		・今年度苦情はありませんが、あった場合には、園だよりに掲載し適切に処理いたします。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○				94%	4%	0%	2%		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○				94%	6%	0%	0%		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○				94%	4%	0%	2%		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○				92%	0%	0%	8%		・職員は、市社会福祉協議会のマニュアルに沿って行動しているが、保護者に対して、周知徹底までには至っていないものもあります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○				90%	2%	0%	8%		・避難訓練の様子に関して、園だよりに掲載しています。避難経路に関しては、各部屋に掲示していますので、ご確認ください。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○									
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○									・現在身体拘束の事例はありません。必要に応じてクールダウンのための別室対応や、安全確保のためのヘッドギア装着について支援計画に記載し、個別で話し合いの機会を持っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○									・新規事例の場合は、口頭でのアレルギーの有無の確認と、必要に応じて指示書の依頼をしています。朝礼の際に、当日の利用児のアレルギーの有無を確認しています。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○									・ヒヤリハットの作成だけでなく、職員全体で事故を未然に防ぐための手立てを具体的に話し合っています。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか？					90%	10%	0%	0%	・いつも優しく丁寧に接して下さるので、子どもも懐いています。嫌がることなく、子どもと1対1の時間を持って、子どものメンタルバランスを保つのに、非常に感謝しております。・友達もできて先生方にも慣れ、楽しく過ごしている。	・通所を楽しみにしていただきありがとうございます。在籍されている園や学校に大きな行事がある前後に、疲れがたまり、気持ちが落ち着かない様子が見られます。子どもの状態に合わせて、個に応じた療育内容の見直しを行い、全員が楽しく通える園を目指していきます。
	2 事業所の支援に満足しているか？					94%	4%	2%	0%	・子育ての不安もあけぼの園の先生方には相談しやすいです。・子供の活動の幅が広がり、同じ悩みを持つ人と話すことができ、満足している。	